

## &lt;白金標準、広州先物取引所でプラチナ先物、オプション取引が開始・・・&gt;



(出所：オアシス)

27日から中国の広州先物取引所で、中国初のプラチナとパラジウムの先物、オプション取引が開始している。そのため先週から白金標準先物は、7002円で下げ渋ると中国市場の需要期待とご祝儀相場が重なり、週末には7864円まで高値を試し、1週間で862円の上昇を見せている。特に中国政府は10月20日に11月1日からプラチナとパラジウムに対する付加価値税13%を課す発表を行うと、駆け込み需要から上海黄金取引所のドル建て換算のプラチナ価格はロコ・チューリッヒのプラチナ価格に比べ200ドル以上のプレミアムを付けている。その動きは今回の広州先物取引所でも見られ、白金標準先物に比べ1000円以上のプレミアムを付けており、27日以降期近12月限は8122円まで高値を試しており10月に付けた高値8155円に迫る値動きを見せている。

また白金標準先物は、毎年アニバーサリーで示す年末12月から翌年3月まで高値追いを続ける確率が高く、今年10月に8月限が付けた高値である8250円を期先10月限で試す可能性は高まるだけに、年末に向けた7600円以下を試す修正安が起これば、強気のロングポジションを構築するチャンスと思われる。

## &lt;テクニカル&gt;

白金標準先物の週足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルも切り上げている。RCIでは短期が上昇し、長期は切り上げている。特に週足が指標平滑移動平均線のレンジを上回っており、強気維持の動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に關し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,740,000 円(2025 年 12 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあります。その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2025 年 12 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引に

についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間: 平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あつせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター

<https://www.nisshokyo.or.jp>